

## ヘルペス性 口内炎

ヘルペス性口内炎は、口の粘膜や歯ぐきがあがれて、とても痛い感染症です。痛くて飲んだり、食べたりできなくなることもあります。

今は、飲み薬で「特効薬」ともいえるものがあり、早く治すことができます。

一口メモ

### 大人のヘルペス

子どものときにヘルペス性口内炎をおこすと、熱や口の痛みのとても強い感染症をおこします（初感染）。

そのとき、ウイルスが体の中に残っていて、大人になってから口内炎をおこすことがあります（再発）。このときの症状は軽くて、唇にピリピリする水ぶくれができる程度です（口唇ヘルペス）。（かぜ気味など、体調をくずしたときでやすいようです。）

口唇ヘルペスになっている大人がいると、その周りの子どもたちに感染させることができます。世代をこえて、ウイルスが伝染していくというわけです。



## ●ヘルペス性口内炎とは

ヘルペス（単純疱疹）というウイルスによっておきる感染症です。

38～40度の高熱が数日続きます。口の粘膜に小さな水ぶくれができたり、歯ぐきが赤く腫れています（歯肉炎）。すごく痛いので、飲んだり、食べたりができなくなります。水分が十分にとれないと、脱水症になることもあります。



## ●治 療

アシクロビル（商品名：ゾビラックス、アストリック、グロスパール）という飲み薬を使います。ウイルスそのものに効くので、いわば「特効薬」です。

そのほか、症状を軽くするために、熱やのどの痛みをおさえる薬（解熱鎮痛薬）も使います。

## ●家庭で気をつけること

(1)高熱：何日も高熱が続いますが、熱さましを使いすぎないようにして下さい。  
暑がっているようなら、涼しくしてあげて下さい。

(2)食事：口のなみの痛みが強いため、よけい食欲がなくなります。栄養はなくて  
も、少しずつとれていれば大丈夫です。（すっぱい物や、醤油・ソースはいや  
がります。）

(3)水分：水分は十分にとらせて下さい。麦茶、イオン飲料など、あっさりしたも  
のでけっこうです。

(4)入浴：熱があっても、とくに具合が悪そうでなければ、汗を流すことはかまい  
ません。

## ●もう一度診察を

- (1)口のなみの痛みが強く、水分もまったくとれないとき。
- (2)高熱が3日以上つづくとき。
- (3)元気がなく、ぐったりしているとき。

## ●園や学校

熱が下がり、のどの痛みもとれて、食事も含めて普通の生活に戻ってから、また通い始めて下さい。（きちんと治ってからでないと、ほかの子へうつしてしまうこともあります。）

### (参考) ヘルペス性口内炎をおこすウイルス

単純疱疹ウイルスⅠ型がこれを引き起こします。Ⅱ型は、性器ヘルペスの原因ウイルスです。水ぼうそう（水痘）は「ヘルペス属」の仲間で、同じ薬が効きます（使用量は違いますが）。